

空間一様な外部定電場のかかる量子力学系において、相互作用を表すポテンシャル関数の一意性についての逆問題を考察する。ポテンシャル関数としては微分可能な短距離型と長距離型に加え、特異性を許容する超短距離型といった幅広いクラスを扱う。講演では特に短距離型部分の一次導関数の減衰度に注目して、先行研究によるこれまでの進展と新たに得られた結果および改良点をお話したい。